

Clicaで瞬間参加型授業

ClicaはクリッカーなどのPRS (personal response system) を、スマートフォンを端末として実現するWebシステムです。ClicaなどのPRSを使うことにより、大講義室での講義でも、学生を参加させることにより一瞬で雰囲気をガラッと変えることができます。PRSの基本的な使用例を以下に示します。

- 1) 10～15分講義をします。重要事項がいくつか出てくることでしょう。
- 2) 受講生にクイズを提示します。3～5の選択肢の中から正解一つを選ぶ選択問題にします。
- 3) PRSにより受講生が各自回答します。集計結果がPC画面やスクリーン表示され意見分布を見ることができます。
- 4) 結果を基にしてペアワーク、またはグループワークをします。議論によりクイズへの回答を再考します。
- 5) 再度PRSで回答し、意見分布の変化をみて、受講生の理解度をみながら授業が続けられます。

1)～5)を1セットとし、授業中複数回行うことで、授業にメリハリをもたせ、受講生の参加意欲を刺激し、記憶によく残る授業を実現することができます。先行事例も多くあり、学会などでもカードが配られデモが行われています。授業への参加意欲が高まることにより、学生からの質問も増えるそうです。ただし、90分の授業で10回も回答させると学生も飽きてきて、最後の方は回答してくれなくなるという報告もあります。使いすぎに注意しましょう。上記の1)～5)を4セットぐらいが適当のようです。

高知大学では、オンライン学習支援システムからこのシステムにつなげることで、コースの開設やログインを簡素化することができるようになりました。通常は専用のIDとパスワードを取得し、学生を登録し、学生に対しても専用のIDとパスワードを配布する必要がありますが、認証連携によりオンライン学習支援システムに全学認証IDとパスワードを使ってログインするだけで、Clicaが利用できます。以下に手順を紹介します。

1. オンライン学習支援システムにログイン

まずオンライン学習支援システムにログインします。ClicaをPCで使うには、Chromeでの利用が推奨されています。Chromeを使っていらっしゃる方は少数だと思いますので、まずこれをダウンロードしてインストールし、以下の操作をChromeで行ってください。スマートフォンやタブレットでも利用できますが、この場合ブラウザは何でもかまいません。iPadやiPhoneではSafariで問題なく動作します。ログインページはこちらです。

<https://olss.cc.kochi-u.ac.jp/lms/Login>

ログインする前にまずこのページをブックマーク（お気に入り）に追加しておきましょう。全学認証IDとパスワードでログインします。ログインするとページ上部にプルダウンメニューが見えます。

リンク	アンケート	追跡調査	テスト	ボード	データ管理	ログアウト
-----	-------	------	-----	-----	-------	-------

2. グループを作成する

オンライン学習支援システムに、グループを作成します。たとえば「〇〇学」という授業で利用したい場合、この授業の受講生グループを作ります。詳しくはオンライン学習支援システムマニュアルをご覧ください。

<https://olss.cc.kochi-u.ac.jp/create/publication/pdf/olssManual.pdf>

グループに教員が入っている必要はありませんが、利用する教員が自分のIDでログインして作業する必要があります。

3. Clicaにコースを作成する

プルダウンメニューの [リンク] から [Clicaコース管理] を選び、次のページに移ります (Fig1)。右端の「新規登録」をクリックします。コース情報の入力画面が表示されます (Fig2)。

Clicaコース名称に授業名を入れます。もし、「〇〇学」が複数開講されている場合は単に授業名だけでなく、教員名や時間割を入れておきましょう。

注意!



Clicaコース期間の開始日時には、ログインした次の日付が入っています。今すぐ使いたい場合には日付を一日戻すのを忘れないでください。また、終了日時には学期末の適当な日付を入れてください。

Clicaコース対象者には教員が作成したグループ名が表示されています。クリック選択してください。最後に [確認] ボタンをクリックして作業は終了です。

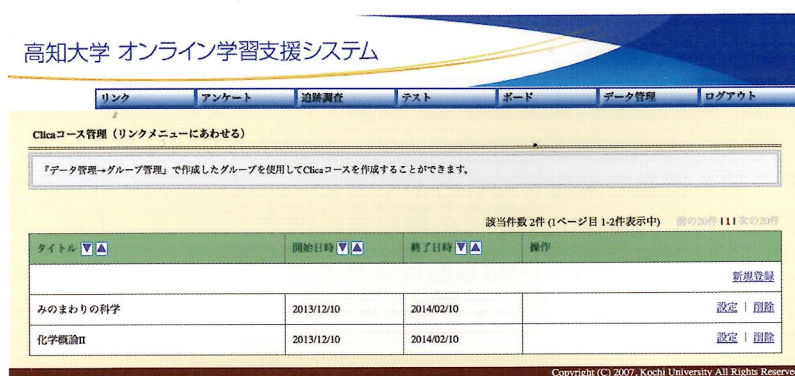


Fig.1

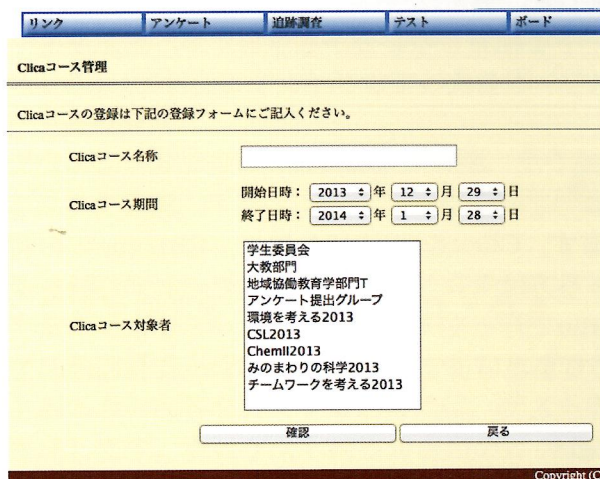


Fig.2



Fig.3

Clicaを使う (授業中の作業)

4. オンライン学習支援システムにログインする

教員もログインが必要です。まずオンライン学習支援システムにログインします。学生にもオンライン学習支援システムのURLを知らせ、ブックマークさせましょう。全学認証IDとパスワードが必要です。現在、履修登録はWeb履修になっていますので、あらかじめ必要になることを予告しておけば、1学期の初めの授業でも利用可能です。

学生用の利用マニュアルがありますので、印刷して配付してください。

<https://olss.cc.kochi-u.ac.jp/create/publication/Clica%20student.pdf>

5. Clicaに接続する

オンライン学習支援システムのプルダウンメニューから[リンク]-[Clicaログイン]を選んでタップ（またはクリック）します（教員も学生もスマートフォンでの利用が可能です）。Clicaのコース一覧画面が開きます（Fig3）。

一覧の中から目的のコースを選んでクリックします。回答画面が表示されます（Fig4）。

「▼」が表示されているボタンは教員専用ボタンです。学生の画面では表示されません。クイズを実施するとき、まず教員は回答可能な状態にする必要があります。



Fig.4

6. クイズに回答させる

[▼出題メニュー]をクリックします（Fig5）。「新しい問題を出題」を選んで[実行]ボタンをクリックします。

「受講者への集計状況の表示」を選択することができます。[表示しない]にしておけば、教員が[表示する]をクリックするまで学生は集計結果を見ることができません。回答が終わるまでの間、バイアスがかかる恐れがあるなら表示しないを選び、その心配がないなら表示するを選ぶと良いでしょう。特に決まりはありません。クイズの質問や選択肢を書き入れることができるようになっていきます。後でまとめてダウンロードすると、回答ログとあわせてどの学生がどの質問に正解したか、確認することができます。

授業中受講生がよく理解できたかどうかを、教員に知らせることができます。その時に使うのが「そうなんだ!」と「どうして?」です。

また、文章による質問やコメントもできます。「発言した？」の下の欄にテキスト入力し、[発言] ボタンをクリックします。

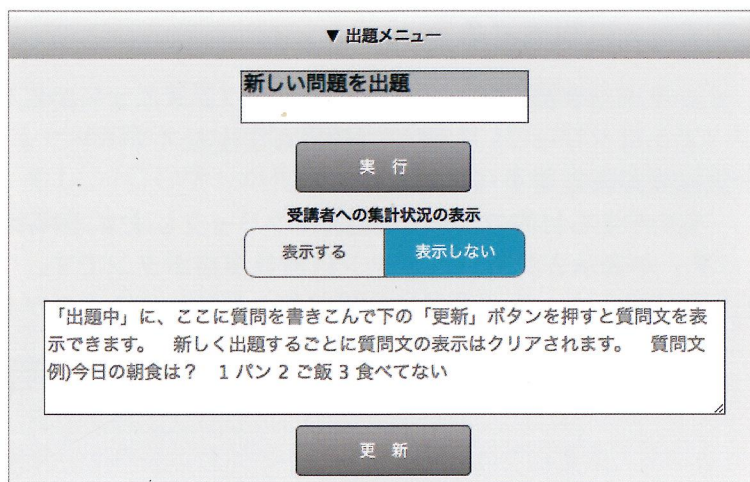


Fig.5

7. 回答の受け付けを終了する

回答受付中に [▼出題メニュー] を表示すると、表示されるメニューが変わっています (Fig6)。

「回答を締切る」を選んで [実行] をクリックすると、それ以後回答はできなくなります。引き続き2問目を出題する場合は「回答を締切り新しく出題」を選びます。

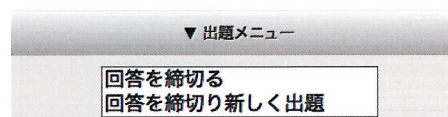


Fig.6

8. 回答ログをダウンロードする

Clicaの画面右上に見える [講師メニュー] にカーソルを合わせるとプルダウンメニューが開きます (Fig7)。その中から「回答をダウンロード」を選択すると回答者のログがcsv形式ファイルとしてダウンロードされます。

ダウンロードできるのは回答ログの他、そうなんだ!、どうして? のクリック状況、テキスト入力した発言の内容です。

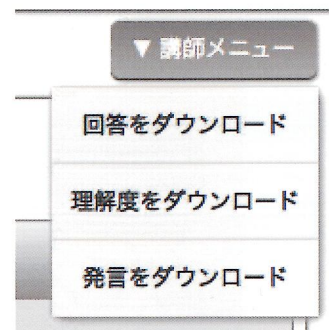


Fig.7

9. ゲスト回答者のコースを作成する

ゲスト回答者と受講生を共存させることはできません。ゲスト回答者の回答を許可するためには、ゲスト専用のコースを作成します。更にゲスト回答者専用のログインID、パスワードの設定をします。ゲストは何人でも同一のIDとパスワードでログインするので、個人の特長はできません。

ゲストコースの開設をするためには、ClicaのWebサイトで [ゲスト用>] ボタンをクリックします。ゲスト用クラス一覧が開きます。そこで [新規作成>] ボタンをクリックします。ゲスト用クラス作成画面が開きます。

設定画面で必要事項を全て入力し、[登録] ボタンをクリックすると設定完了です。

ゲストの入り口は以下の通りです。

<http://clica.jp/spn/>

ここから設定したIDとパスワードでログインさせてください。

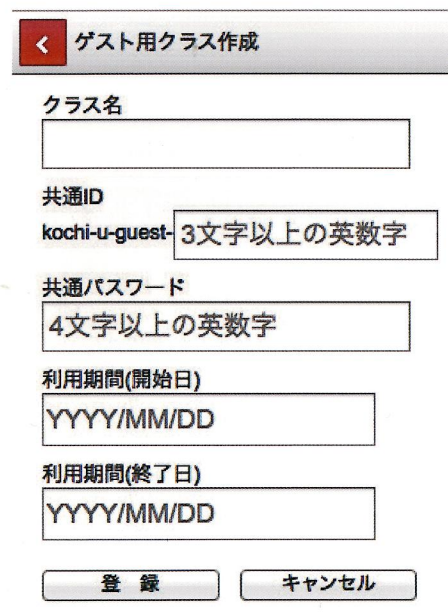


Fig.8